

沙流川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）

～ブランド食材と伝統文化が生きる街「ひだか・びらとり」を洪水被害から守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、沙流川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、沙流川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成15年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■河川における対策

対策内容 河道掘削・樹木伐採、
沙流川総合開発事業(平取ダム)
等

■流域における対策

・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、北海道、市町村、電力会社など)
・水防活動及び排水活動に資する資機材整備 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト施策

・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
・洪水情報のプッシュ型情報配信
・多機関連携型タイムラインを活用した訓練
・マイタイムラインによる自助・共助の推進
・想定最大規模の洪水を想定した排水作業準備計画作成
・防災教育を通じて水防に関する啓発活動の強化 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

河道掘削・樹木伐採



	: 沙流川流域の境界		: ダム
	: 国管理区間		: ダム(建設中)
	: 市町村境界		

凡例

	: 浸水範囲(H15.8洪水実績)
--	-------------------



平成15年8月台風第10号
家屋全壊半壊32戸、
床上浸水79戸、床下浸水172戸

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。